

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 65

2019年 3月18日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労

2年連続のベア回答(200円)を引き出し妥結

～極めて厳しい経営状況に直面しながらも、ベアの流れを継続～

貨物鉄産労は3月15日、2019春季生活闘争の第4回団体交渉を行い、会社から平成31年度の新賃金について、「定期昇給4号俸及びベースアップ200円（2年連続）、並びに55歳以上の社員の賃金改善措置（基本給に3,200円加算）を実施する」との回答を受けた。

JR貨物においては、前年度まで2年連続で鉄道事業の黒字化と連結経常利益100億円以上を達成し、前年の春闘交渉では19年ぶりとなるベースアップの実施を回答するなど、経営が堅調に推移していた。しかしながら一転、今年度は「平成30年7月豪雨」等、未曾有の自然災害の影響を受け、120億円を上回る減収や鉄道事業の赤字転落が確実となるなど、極めて厳しい経営状況に直面した。

そのような中、今次春闘交渉は難航を極めたが、貨物鉄産労は回答について、「要求金額とは乖離があるものの、多くの自然災害による被害を受けながら、また、4月の人事賃金制度改正により応分の原資持ち出しがある中で、2年連続のベースアップ実施は評価できる」として、席上妥結した。